

II. 計画

森づくりの対象

六甲山系の森には、土砂災害防止のため、伐採・植栽等の整備の必要な森や、現在の良好な状態を維持するための手入れが必要な森があります。

活動地の植生やその状態を見極め、適切な活動を計画的に行いましょう。

目標とする樹林へ誘導する整備・管理

六甲山系の森づくりでは、基本的には土砂災害防止効果の高い**落葉広葉樹林を目標**としています。

現状では概ね樹林等が形成されていますが、土砂災害防止上の観点から問題のある植生については、積極的に林相転換、補植などの整備を行い、継続的に撫育等を実施します。

●ニセアカシア群落



ニセアカシアは根が浅く広がるため倒れやすく、また、ネザサが生い茂っているため、次世代を担う後継樹（次の世代に高木となる樹木）が育ちません。

整備メニュー

- ・伐採（巻き枯らし）
- ・植栽
- ・育樹（下刈り等）

●スギ・ヒノキ群落



スギ、ヒノキの人工林は、手入れを行わないと林の中が暗くなり、下層植生が発達せず土砂流出が起こりやすくなります。

整備メニュー

- ・伐採
- ・植栽
- ・育樹（下刈り等）

●モウソウチク・マダケ群落



林床が暗く、後継樹が育ちません。放置しておくと周囲に広がります。

整備メニュー

- ・伐採
- ・植栽
- ・育樹（下刈り等）

●草本群落・低木林



ネザサなどが生い茂っており、後継樹となる植物はほとんど生えていません。

整備メニュー

- ・下刈り
- ・植栽
- ・育樹（下刈り等）

その他適正な整備・管理

現状では樹林が形成されていますが、土砂災害防止上の観点から、伐採や下刈りなどの適正な整備を行い、良好な樹林へ誘導・維持します。

●マツ枯れ・ナラ枯れ等の拡大防止を図るための整備

マツ枯れ、ナラ枯れ等の伝染病による枯損木は、薬剤処理等適切な処理を行う必要があります。

専門的な処置が必要となるため、発見次第、六甲砂防事務所ご連絡してください。

整備メニュー

- ・六甲砂防事務所へ連絡

●草本層の発達を促し、表土流出防止を図るための整備



落葉広葉樹林において常緑樹が草本層の発達を阻害している場合、常緑樹を伐採します。

整備メニュー

- ・伐採（常緑樹）

●現状の樹林を保全する管理



林床にネザサが生い茂っていると後継樹は育ちません。このような場合、ネザサの下刈りを行います。

整備メニュー

- ・下刈り

詳しくは「みんなの森づくり(計画編)」をご覧ください。

森づくり作業計画

1年間の作業計画は、植物の生育に適した時期や作業効率の良い時期をしっかりと認識した上で計画しましょう。

また、時には作業の後にレクリエーションを取り入れ、森に親しみ、愛着をもって森づくりを続ける工夫をしましょう。

森の作業 年間カレンダー例

